

令和5年度 流域治水・減災対策に係る 各機関の取組事例

釧路市Webハザードマップの機能更新、防災総合訓練

(釧路市の取組事例)

- ◆令和3年10月から公表している「釧路市Webハザードマップ」に、各地点の「浸水深（洪水災害）」や「基準水位（津波災害）」等を新たに表示できる機能を更新した。
- ◆大規模な地震による被害の発生と津波の襲来を想定した各種訓練等を、関係機関の連携強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、防災総合訓練を実施した。

釧路市Webハザードマップの機能更新

- ・洪水ハザードマップ上に色分けされた任意の地点をクリックまたはタップすると「浸水深」が表示されます。
- ・大津波ハザードマップ上に色分けされた任意の地点をクリックまたはタップすると「基準水位」「津波1cm到達時間」が表示されます。

(標茶町の取組事例)

- ◆水害対応～釧路川標茶地区水防技術講習会に参加。
- ◆防災教育～中学校での1日防災学校を実施

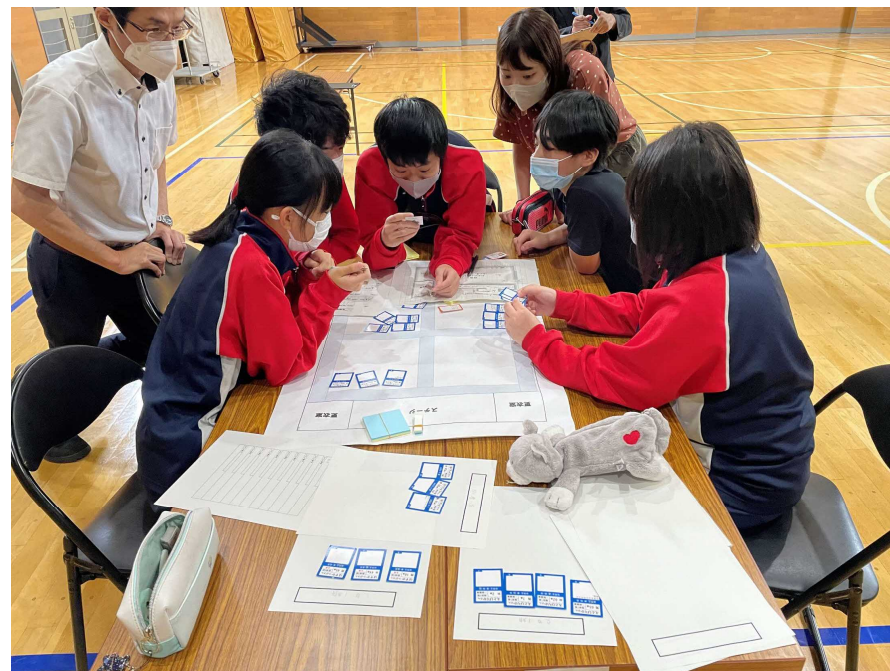
水害対応の基礎を学ぶ

8月23日、釧路川水防技術講習会が標茶町で開催され、なわ結び、土のう製作、木流工、積み土のう工を体験しました。



防災教育の実施（1日防災学校）

- ・虹別中学校にて1日防災学校を実施。D○はぐを行い、避難所運営のノウハウと問題点を話し合い、防災力の向上を図りました。



標茶町総合防災訓練の実施

釧路川外減災対策協議会
釧路川水系外流域治水協議会

(標茶町の取組事例)

- ◆ 令和5年9月2日に4年ぶりとなり標茶町総合防災訓練を実施。
- ◆ オンラインでの情報共有、避難所での設営訓練などを実施する。

災害対策本部では新たな取組みとして、オンラインで関係部署と情報共有し、併せて避難所、現場活動のライブ配信を画面上で確認しました。



避難所設営訓練では住民の方に室内テントの組立て、心肺蘇生訓練が実施されました。



過去に発生した水害現場で土嚢積み訓練を実施しました。



(釧路町の取組事例)

- ◆巨大地震への備え【内閣府共催】：釧路町総合防災訓練・訓練前後のワークショップ
- ◆地域共助体制の整備促進：各種研修・訓練・1日防災学校

各種取組(詳細)

■災害に負けない人づくり・地域づくり事業(R5. 9. 23)

東日本大震災の被災者による体験講話や中学生による防災小説の発表、様々な分野の専門家による防災ディスカッションを実施した。

■釧路町総合防災訓練(R5. 10. 14)

大規模地震・津波の発生を想定し、関係機関とセチリ地区の地域住民による避難訓練を実施、また各防災関係機関による展示訓練を実施した。

■釧路町防災ワークショップ(R5. 11. 29)

防災訓練の振り返りを踏まえて、防災専門家の協力のもと、避難に関する課題や解決に向けた意見交換を実施した。

■防災訓練・研修

自主防災組織・町内の各学校・団体を対象に、避難所開設訓練、防災についての講話等、災害への備えとなる訓練・研修を実施した。

災害に負けない人づくり・地域づくり事業



防災ディスカッションの様子

釧路町総合防災訓練



避難訓練の様子

防災訓練・研修



1日防災学校の様子（別保小学校）

(厚岸町の取組事例)

- ◆ 災害発生後における避難所の設置、運営方法を学ぶため、町内の小中学校、自治会が主体となって、感染症対策等に留意した避難所設営訓練を実施した。
- ◆ 防災に関する知識を学び、防災意識を高めることを目的として、各自治会や各学校を対象とした防災研修会等を実施した。

避難所設営訓練の実施

- ・ 令和5年10月28日（土）
- ・ 厚岸町太田地区 約120人
- ・ 避難者受入訓練、避難者用テントの設営等を実施



避難所設営訓練

防災研修会等の実施

- ・ 町内の各自治会、各学校において、ハザードマップや防災資機材についての防災研修会・防災授業を行い、災害時の避難行動や避難場所等に関する知識を学び、防災力の向上を図った。



太田小中学校・太田自治会合同防災研修会

村防災訓練の実施、村立学校における防災教室

(鶴居村の取組事例)

- ◆ 釧路沖を震源とするマグニチュード8.0（鶴居村での震度6弱）の大規模な地震発生を想定した防災訓練を行った。
- ◆ 災害時における基本的な行動を理解するとともに、防災意識を高めることを目的として、中学生を対象とした防災教室に講師として参加した。

村防災訓練

- ・ 令和5年3月16日(木)
- ・ 鶴居村幌呂地区 参加者51名
- ・ 避難所開設、備蓄品の紹介、非常食の試食



段ボールベッドの
利用体験



備蓄倉庫、備蓄品の紹介

鶴居中学校、幌呂中学校「1日防災学校」

- ・ 令和5年6月20日(木)、8月26日(土)
- ・ 鶴居中学校 生徒15名、幌呂中学校 生徒6名
- ・ 防災備蓄食料の実食、避難所設営等訓練、防災クイズ



幌呂中学校



鶴居中学校

弟子屈町における防災の取組

(弟子屈町の取組事例)

- 市街地の親水広場「釧路川ふれあい広場」の活用。
- 弟子屈町消防団による水防訓練の実施。
- 弟子屈町防災訓練で小中学生に防災教育の実施。

7月15・16日の二日間「釧路川ふれあい広場」で摩周の里夏まつりが開催され、自衛隊音楽隊や学校のブラスバンドによる演奏やダンスが披露され、つぎの日の玉入れ選手権では子供の部と一般の部に分かれ賞品をめぐって町民全員が「釧路川ふれあい広場」で楽しみました。



8月6日 弟子屈町消防団では、月例訓練の一環として「水防工法訓練」を実施しました。同消防団では隔年ごとに釧路川や鑑別川の氾濫、住宅地での内水氾濫を想定して訓練を実施しています。



9月25日弟子屈町防災訓練を実施、災害対策本部の設置と气象台、自衛隊、消防、警察等とNTT、北電など各関係機関の連携状況を確認する。また、川湯小・中学校の一日防災訓練を行い、防災講話やDo-HUGなど災害に対応する勉強をした。



(白糠町の取組事例)

- ◆ 本別町との包括交流連携協定に規定する「災害対策・支援」に基づく目標達成のため、発災時の受援、支援体制等連携、行動確認の合同訓練を実施した。
- ◆ 中学1年生を対象とした防災施設見学・体験や、1泊2日の防災宿泊学習を含む防災教育を実施した。

白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練

- ・ 令和5年9月28日、白糠町より本別町の避難所へ物資を提供する想定で、白糠町・本別町併せて8人の職員により実施。
- ・ 白糠町で備蓄している食料やエアートントを搬入し、実際にエアートントの立ち上げを行い、相互に使用方法を確認した。

中学生を対象とした複数日程による防災教育

- ・ 令和5年11月に施設見学1回、宿泊学習1回を別日程で実施し、中学1年生、町内会など延べ57人が参加
- ・ 避難所運営ゲーム（HUG）・避難所設営訓練及び、町内各ポンプ場・避難場所等の施設見学を実施



白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練の様子



施設見学の様子

宿泊学習の様子

浜中町防災総合訓練

(浜中町の実施事例)

- ◆ 災害対応力の強化を図ることを目的として、災害対策にあたる防災機関と共同で日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・大津波の発生を想定した防災総合訓練を実施した。

実施日：令和5年11月1日(水)

実施場所：浜中町役場庁舎周辺及び防災広場

参加機関：釧路開発建設部、釧路地方気象台、陸上自衛隊、釧路海上保安部、釧路総合振興局、厚岸警察署、浜中消防署、浜中消防団、浜中町社会福祉協議会、浜中町赤十字奉仕団、浜中町自治会連合会、北総研北方建築総合研究所、北電根室ネットワークセンター、北海道コカ・コーラボトリング

訓練内容：津波避難訓練、防災学習、負傷者等輸送訓練、炊き出し訓練、避難所設営訓練、防災イベント 等



津波避難訓練



防災学習



負傷者等輸送訓練



炊き出し訓練



避難所設営訓練



防災イベント

防災関係機関との連携、防災広報等の実施

(北海道警察の取組事例)

- ◆ 関係機関が主催する防災訓練で各機関と連携を確認しながら避難誘導活動を実施するなど、各種防災訓練に参加し、災害時の避難誘導や救出救助技術の向上を図った。
- ◆ 釧路地方に転入した外国人技能実習生に対する防災講話を実施するほか、防災イベントで災害資機材等を展示するなど、住民の防災意識の高揚に努めた。

防災関係機関との連携、救出救助技術の向上

- ・ 釧路市防災総合訓練で各機関が役割や実施手順を確認し、住民の避難誘導活動を実施した。
- ・ 厚岸警察署で河川氾濫等の水害に向けて、救助ボートによる救出救助訓練を実施した。



釧路市防災訓練で避難誘導活動
(釧路署)



水害時の救出救助訓練(厚岸署)

防災講話や防災イベント等に参加

- ・ 厚岸町内居住の外国人技能実習生に対して、「災害への備え」などについて講演した。
- ・ 防災イベント「防災学ぶランドinくしろ」で機動隊車両や災害資機材を展示する防災広報活動を実施した。



防災講話の開催状況(厚岸署)



「防災学ぶランド」広報活動(釧路署)

森林整備・治山対策

（根釧西部森林管理署の取組事例）

☆関係市町村： 釧路市・釧路町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・厚岸町

- ◆ 水源涵養機能の維持・向上のため、適切な間伐及び更新作業等を実施しています。
- ◆ 土砂の流出を抑制する溪間工などの治山工事を実施しています。

高性能機械による間伐



苗木の植付作業



管理用の林道等作設



更新予定箇所の地表処理



保育のための下刈作業



治山工事（溪間工）



(森林整備センターの取組事例)

◆ 釧路川水系流域

流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施しています。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

河道掘削の実施、堤防天端の保護

(北海道の取組事例)

- ◆ 洪水氾濫を未然に防ぐため、流下能力が不足している箇所において、河川改修や、河道内の樹木や土砂の除去を実施した。
- ◆ 堤防天端の整備(越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策)を行っている。

河川改修及び河道内樹木や土砂の除去

- ・釧路川、別保川、阿寒川、春採川における河川改修の実施。
- ・河道内の樹木の伐採や土砂掘削の実施。



阿寒川における掘削状況



音別川における河道内樹木の伐採状況

堤防天端の保護

- ・危機管理型ハード対策として、釧路川と別保川で堤防天端の舗装工のうち路盤工を実施した。



釧路川の堤防天端舗装の状況



別保川の堤防天端舗装の状況

北海道管理河川への量水標の設置

(北海道の取組事例)

- ◆令和元年度に北海道が管理している釧路建設管理部管内の河川に監視カメラを設置しているが、
現地の水位状況を把握するため量水標を設置している。
- ◆量水標は令和4年度に釧路管内10箇所を設置済み。
令和6年度も引き続き設置予定。
- ◆国土交通省「川の防災情報」では、河川監視カメラによる水位状況をリアルタイムで確認出来る。



オビランケ川(釧路町)に設置した量水標(令和4年度設置)



阿寒川(釧路市)に設置した量水標(令和4年度設置)

新たな水位周知河川指定へ向けた取組、ホットラインの拡充

(北海道の取組事例)

- ◆ 新たな水位周知河川指定に向け、水位設定の検討や洪水浸水想定区域図の作成業務を実施。
- ◆ ホットラインの拡充(電話による情報提供により、避難指示等、発令の判断を支援する仕組み)

新たな水位周知河川指定に向けた取組

○音別川

- ・ 水位周知河川指定に向け、令和4年度に浸水想定区域図の作成業務を実施。
- 令和5年度に水位設定業務を実施。

関係機関との協議を終え、令和5年度内に水位周知河川に指定予定。



音別川 水位周知河川予定箇所

河川等防災情報ホットライン

〔令和〇年〇月〇日〕

【〇〇出張所】

河川防災情報	伝達者	連絡先
水位の情報に関すること	副局長 用地管理室長 (防災用携帯 1)	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	事業室長 維持管理課長 (防災用携帯 2)	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇
その他の防災情報	〇〇出張所長 (防災用携帯 1)	090-△△△△-△△△△
	〇〇出張所次長 (防災用携帯 2)	090-☆☆☆☆-☆☆☆☆

【〇〇町】

受達者	連絡先
(役職・氏名)	
(役職・氏名)	
摘要欄	

提供する情報

【水位周知河川・水位通報河川】

(水位等の情報)

- 提供する情報：氾濫危険水位の到達情報（警戒レベル4相当情報）
- ：氾濫の発生及びその状況（警戒レベル5相当情報）
- ：土砂災害警戒情報の発表状況（警戒レベル4相当情報）

(公物管理/パトロール等によるその他の防災情報)

- 提供する情報：破堤の恐れ、越水・溢水の恐れなどの防災上重大な事象

【その他河川】

(公物管理/パトロール等によるその他の防災情報)

- 提供する情報：氾濫危険水位の到達情報、氾濫の発生及びその状況
- ：破堤の恐れ、越水・溢水の恐れなどの防災上重大な事象

【その他施設等】

(公物管理/パトロール等によるその他の防災情報)

- 提供する情報：道路崩壊・通行規制等による孤立情報
- ：崖崩れ・土石流等の発生情報
- ：防災上の重大な事象

北海道管理河川の洪水浸水想定区域の拡大について

（北海道の取組事例）

- ◆ 令和3年7月15日に「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」が施行された。
- ◆ 国は、法改正前には指定対象とされていなかった中小河川について指定対象に追加し、水害リスク情報の空白地帯の解消を目指すこととした。
- ◆ 北海道では平成30年度までに、管理河川の浸水想定区域図をiRICと呼ばれる簡易な手法を用いた方法により作成しており、これを道庁ホームページで公表している。
- ◆ 釧路・根室管内の83河川洪水浸水想定区域図は、令和5年11月30日に道庁ホームページで公表済み。
- ◆ 関係市町村では浸水想定区域図を用いてハザードマップ作成に反映。



北海道

更新日：令和4年12月21日

洪水浸水想定区域図などの公表

- ・（令和4年12月21日更新）
直別川（浦幌町）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年12月19日更新）
豊平川（札幌市南区）、内大部川（深川市）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年11月28日更新）
ピバイクシュンベツ川外72河川のiRICを追加しました。
旧雪穂川（釧路市）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年11月15日更新）
曾我別川（真狩村、留寿都村）、瀬川（小樽市）、豊川（七木町）、
フレイト川（余市町）、ヌップリ琴別川（京極町）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年11月8日更新）
鷹別川外105河川のiRICを追加しました。
- ・（令和4年8月29日更新）
コクネツ川（天塩町）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年8月8日更新）
伊野川外213河川のiRICを追加しました。
- ・（令和4年8月1日更新）
駒成川外53河川のiRICを追加しました。
- ・（令和4年7月12日更新）
延徳内川（幌延町）のiRICを追加しました。
- ・（令和4年6月16日更新）
知津野川外108河川のiRICを追加しました。
岩巻川外46河川のiRICを追加しました。



道庁建設部河川砂防課のHPで
洪水浸水想定区域図を公表。
全道を14の地区に分けて約
1240河川の図面を公表。

(釧路地方気象台の取組事例)

施設見学会「くしろお天気らんど2023」（協力：北海道気象予報士会、北海道教育大学釧路校）



(津波発生装置を用いた津波疑似体験)



(転倒ます型雨量計の体験コーナー)



ろじょう
(観測露場(機器設置場所)の見学ツアー)

「防災学ぶランドinくしろ 2023」



(パネル展示と実験コーナー)



(転倒ます型雨量計の体験コーナー)

「出前講座」



(釧路町立別保中学校での防災授業)

(釧路開発建設部の取組事例)

◆ 釧路川弟子屈地区・標茶地区

氾濫による危険性が特に高い弟子屈・標茶市街地において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削と堤防整備を実施しています。

弟子屈地区（釧路川右岸弟子屈町高営地先）

R 5 年度

河道掘削 $V = 1,400\text{m}^3$

護岸整備 $L = 132\text{m}$



標茶地区

（釧路川右岸標茶町オソツベツ原野地先）

R 5 年度

堤防整備 $L = 450\text{m}$



(釧路開発建設部の取組事例)

◆巡視内容

釧路川・新釧路川における重要水防箇所や水防拠点に関係機関と合同で巡視を行った他、危機管理型水位計や簡易河川監視カメラの説明を行い水防災に関する情報共有を行いました。

◆巡視概要

実施日：令和5年7月3日(標茶)、11日(弟子屈)、13日(釧路)

実施場所：釧路地区、標茶地区、弟子屈地区

参加機関：釧路開発建設部、釧路総合振興局、釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、北海道警察釧路方面本部、釧路警察署、弟子屈警察署、釧路市消防本部、釧路東部消防組合、釧路北部消防事務組合、陸上自衛隊第5旅団第27普通科連隊

釧路地区合同巡視



釧路地区水防拠点



防災資材備蓄施設
備蓄資材

標茶地区合同巡視



標茶河川防災ST



富士樋門

弟子屈地区合同巡視



なんだろ橋



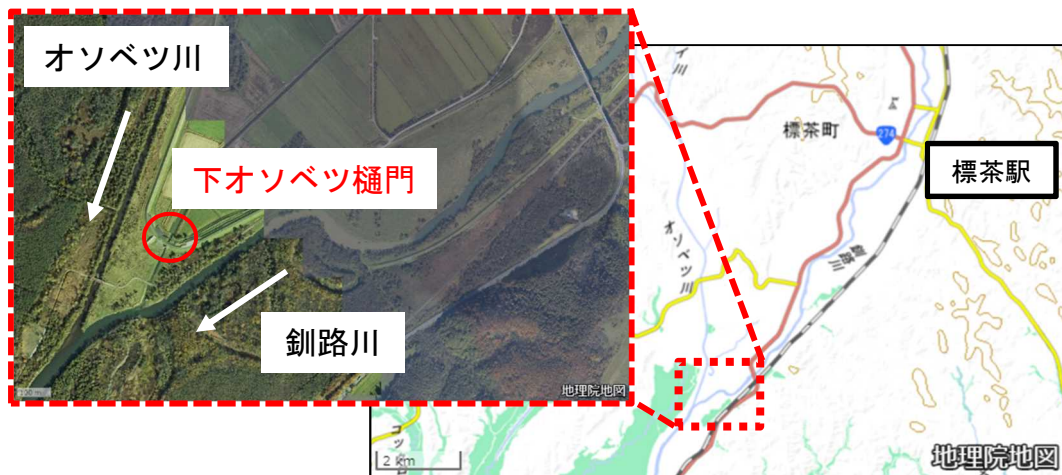
栄橋

(釧路開発建設部の取組事例)

洪水による内水氾濫を想定して、災害協定業者が排水ポンプ車を用いた排水及び照明車による投光訓練を行い、災害発生時における一連作業の確認を行いました。

実施日：令和5年6月27日(火)

実施場所：釧路川 KP37.6 下オソベツ樋門



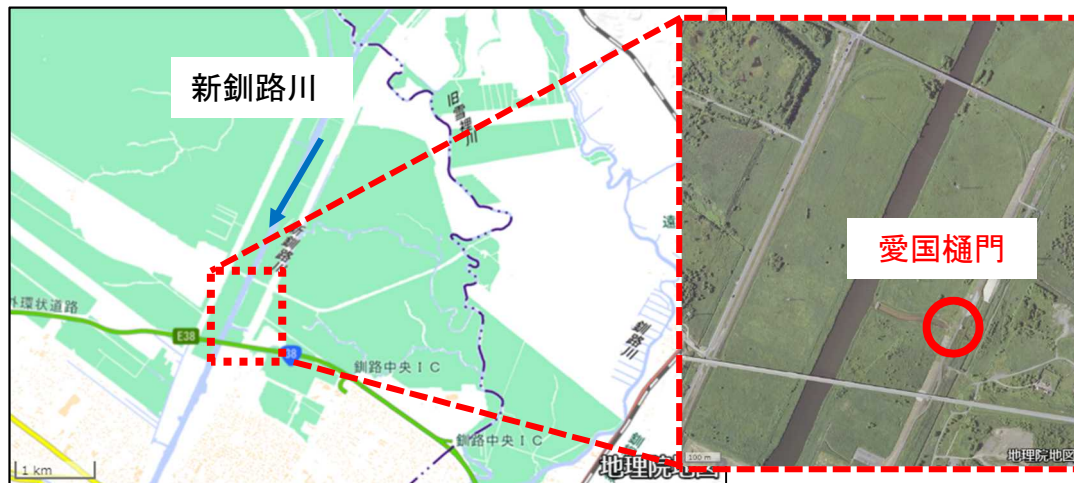
照明車の
投光訓練



ポンプによる
排水訓練

実施日：令和5年7月4日(火)

実施場所：新釧路川 KP4.5左岸 愛国樋門



排水ホース
の布設



排水ポンプ
の設置



(釧路開発建設部の取組事例)

- ◆ 釧路開発建設部では防災教育を積極的に支援しており、令和5年度は標茶小学校6年生を対象に自然災害から命を守るための防災学習として「マイ・タイムラインの作成」を実施しました。
- ◆ 児童のマイ・タイムライン作成にあたっては、釧路開発建設部、釧路地方気象台、標茶町役場が各々のノウハウを活かして作成作業をお手伝いしました。
- 〔実施日〕 令和5年11月7日(火)9時35分～11時20分
- 〔対象者〕 標茶町立標茶小学校(6年生)
- 〔支援者〕 釧路開発建設部、釧路地方気象台、標茶町役場

1時限目：河川防災学習(座学)
近年の水害や釧路川の概要、洪水時に発表される情報や想定される災害など、各機関より河川に関する防災学習を行いました。

2023.11.7 釧路川外減災対策協議会 標茶小学校防災授業

釧路地方気象台

キキクル
大雨警報・洪水警報の危険度分布



標茶町は災害のお知らせをどのようにしているか



標茶町役場総務課交通防災係

釧路川を知ろう



マイ・タイムラインとは

いざというときにあわてずに行動するために、「いつ」、「どのタイミングで」、「何をするか」をわかりやすくまとめたものが「マイ・タイムライン」です

「いつ」

「どのタイミングで」

「何をするか」



2時限目：マイ・タイムライン作成(グループ学習)
洪水時に重要な情報の入手手段や避難するときの注意点などを勉強した後、とるべき行動を整理したマイ・タイムラインをグループで作成しました。



グループ学習の様子



作成したマイ・タイムラインの発表

釧路開発建設部保有排水ポンプ車について

(釧路開発建設部の取組事例)

◆令和5年6月に60m3/min級の排水ポンプ車を1台追加配置しました。
これによりにより、内水氾濫発生時等の排水能力の増強を図ります。

機 械 名	配備状況
排水ポンプ車	30m3/min級
	30m3/min級
	30m3/min級
	60m3/min級(R5.6月 標茶町内に配置)
台数計(能力計)	4台(150m3/min級)



排水ポンプ車(60m3/min級)



活動の様子